



帯広東ロータリー・クラブ会報

[2019-2020年度]

会長／加藤 武志 幹事／角 高紀 会報編集 メディア委員長／加藤 昭治

■創立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例会日：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel(0155)25-7347 ■例会場所：ホテル日航ノースランド帯広 Tel(0155)24-1234

第1684回例会 (令和元年12月10日㊤ 於 ホテル日航ノースランド帯広)

点 鐘 加藤 武志 会長
開会宣言 石川 博機 S A A

ロータリーソング

奉仕の理想

会長挨拶

加藤 武志 会長



皆さんこんにちは、先ずは昨日山口会員のお父様の訃報をお聞き致し心からお悔やみを申し上げる次第でございます。新潟県長岡市という事で弔問にはお伺いできませんが角幹事をお願いして弔電と香典の対応はさせて頂きました。さて先週頂いたロータリーの友12月号皆さんもご覧になったでしょうが私もサッと目を通しました所、友愛の広場掲載の「ロータリーは永遠であろうか」、との甘木Rの富田英壽氏と福井西Rの中村敏雄氏の「ロータリーの将来は？」に目が留まりました。その中で最近のロータリーの大変化と規定審議会の変化に対しこのままでは将来つづれるのではないかと不安と予感を抱いた。日本のロータリーが世界一素晴らしく、人生道場、職業奉仕を基本とした五大奉仕と財団への寄付も含め今後の発展に寄与していきたいと思っていたが昨今のR Iの変貌ぶりに不安を感じる2019年規定審議会での制定案採択に対し三大義務やロータリーの基本理念が段々なし崩しになっているのではないかと。例会軽視でありR Iの組織防衛の為としか思えないとの厳しいご意見が多々ありました。はからずも先週の斎藤豊会員が例会プログラムで述べられましたことをRの友と重ね合わせ、改めて私達は同じ価値観、崇高さを教えて頂いている事がある意味誇りに思った次第です。先週12月4日アフガン人の生活改善に生涯を捧げた日本人医師中村哲さんが銃撃され亡くなりました。正に国際ロータリーの鏡の様な奉仕活動に人生をかけた30年間でアフガニスタン政府初め国民から現地のノーベル賞の称号まで受けて、しかしその中村医師の献身的な行為を敵視する過激な破壊勢力がひしめいていることもこの国の悲しい現状の様です。故福岡正雄会員から生前、度々お聞きしました

が今から100年前1920年、(当時は日本の統治下にありましたが)台湾の烏山頭ダム工事着手した八田与一さんは台湾人の救いの親として現在も英雄として国民にあげられているとの事です。夫々の歴史背景やら国内外事情によって道のりは随分と違う様です。昨年の読売新聞紙上に米高官が述べていました、敗戦で焦土化した日本が短期間で見事な復興と世界有数の近代民主主義国家に成長した、「真に奇跡であると」日本国民の賢さ、聡明性、勤勉性が全ての証であると結んでありました。平和な日本に生まれ仕事に恵まれ、素晴らしい仲間、友に恵まれこんな有難いことは無い、いくらかでも地域に、周りの人達にお裾分けできればと感謝の毎日です。今日もし長くなりましたが一言挨拶と致します。

米山マルチプル表彰
西藤 亭 会員
第6回目



会務報告

角 高紀 幹事

- ①帯広東R C、夜間例会(年末家族会)開催のご案内
日 時 令和元年12月17日(火) 午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- ②各R C、年末・年始休会のご案内
・帯広東R C、12月31日(火)は休会と致します。
- ③帯広東R C、夜間例会(新年交礼会)開催のご案内
日 時 令和2年1月7日(火) 午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
義援金のお願い 沖縄首里城の再建に向けて



ニコニコ献金

安藤 洋幸 新睦活動委員

- 加藤 武志 会長 J A十勝取扱高、過去最高3,500億円超。十勝にとって大変嬉しく思いニコニコします。
- 加藤 昭治 副会長 幹事のがんばりにニコニコします。あと半年です。

- 角 高紀 幹事 先週末、会社の忘年会がありました。おかげ様で年を越せそうです。ニコニコします。
- 鎌田 勉 会員 今日はロータリー財団のプログラム担当です。よろしくお願いします。
- 益子 裕之 直前会長 本日の卓話を担当します。宜しくお願いします。
- 加藤 肇 会員 保育所のおもちつきをしてからのお例会。手に力が入りません。ニコニコします。

出席報告 11月出席報告	大塚 正昭 出席委員長
会員数39名 ホーム出席25名 メイクアップ7名 欠席7名 出席率82. 6 % (平均値)	

プログラム	鎌田 勉 国際奉仕・ロータリー財団委員長
-------	----------------------

【ポリオプラスとロータリークラブ会長での出会い】



益子 裕之 直前会長

ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わった。フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種をするという5年間の誓約だった。これが、保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)プログラムの最初のプロジェクトで、国際ロータリーの75周年基金から補助金が授与された。

1980年代初めに、ロータリーは史上最も意欲的なプログラムを計画し始めた。世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムである。ロータリーは、故アルバート・セービン博士の助言と支援を得て、1985年にポリオプラス・プログラムを設けた。ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、同時追放を目的としているためポリオプラスと呼んでいたが、ポリオプラスの『プラス』は最初の頃と意味が変わって、世界的なポリオ撲滅運動がもたらした遺産のことを指している。管理委員会は、ポリオプラスにプラスがついていることは認識しているが、ポリオ以外のワクチンや予防接種活動に、ポリオ制圧と撲滅のための寄付金を使わない、と決定している1985年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ撲滅を組織の最優先項目としてきた。世界ポリオ撲滅推進活動のパートナー団体とともにロータリーが活動を開始した1988年には、125カ国で35万件以上の発症が確認されていたが、以来、25億人以上の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少している。ロータリーは1985年以来、ポリオ撲滅活動に17億米ドル以上の資金(ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを含む)を投入している。

また、アドボカシー(政府への働きかけ)を通じて、ドナー国政府からの72億米ドル以上の資金確保に貢献している。ポ

リオを完全に撲滅しない限り、今後10年間に新たな発症数が世界で20万件に上ると推定されている。ロータリーは2017年6月のアトラントでのロータリー国際大会で7月1日から向こう3年間で1億5,000万米ドル(毎年5,000万米ドル)を約束した。ビル&メリンダ・ゲイツ財団との倍額を上乗せマッチングと合わせて4億5,000万米ドルとなる。さらに28の国、組織、企業、個人からポリオ撲滅への誓約が発表され誓約総額は2017年8月には13.6億米ドルとなっている。新しい資金は、サーベイランス(監視活動)、発生への対応、年間4億人以上の子どもへの予防接種といったポリオ撲滅活動に役立てられる。ポリオ撲滅がいよいよ現実になる日が近づいている。



(2)「ポリオ」という病気 ポリオ(急性灰白髄炎)は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもである。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもある。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染で、神経系を侵すこともあり、これによって身体の麻痺を引き起こす可能性がある。ときには死に至ることもあり、治療法はないが、ワクチンで予防が可能である。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきた。

(3)ポリオプラスの意味 1985年にロータリーがポリオプラスを開始した時、「プラス」という言葉は、ポリオ撲滅の取り組みが、子どもの間に流行する他の5種類の伝染病(はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風)の予防接種にも広がるだろうという考えを表していた。時とともにポリオ撲滅の取り組みによる恩恵は増えてきた。加えて、ロータリーが立ち上げに寄与した世界ポリオ撲滅推進計画(G B E I)は、世界的な保健問題に取り組むための官民パートナーシップの手本として国際的に知られている。このように、ポリオプラスの「プラス」は、ポリオが常駐する3カ国での感染抑止にとどまらず、ポリオがこの世からなくなった後にも、他の感染症との闘いを支えていくインフラと協力態勢という遺産をも意味している。

閉会宣言

石川 博機 SAA

点 鐘

加藤 武志 会長

次週プログラム予定

令和元年12月17日(火)

「年末家族会」夜間例会(親睦活動委員会)